

みやき便り

No.2

2016年7月29日発行

7月号

日本生協連
組合員活動部

被災された方々がくらしの再生・再建に際し困っていることなどの声を伺う「生活再建に関する懇談会」は、6年目の取り組みとなりました。復興がすすむに伴って、寄せられる声は変化してきています。



生活再建に関する懇談会



2016年度の「生活再建に関する懇談会」は8回開催予定中6回が終了しました。復興公営住宅の家賃が高いことや、駐車場不足、転居時の各種手続きのわかりにくさ、転居したが会話する相手がいないなどコミュニティづくりの不安、住民が減少した仮設住宅の防犯上の不安などの声が出されています。今後、出された声を整理し、必要に応じて行政への要望書としてまとめ、首長・県議・市議懇談会などで活用する予定です。

ふれあい喫茶 復興公営住宅での活動に繋がっています

【仙台市青葉区落合】

ふれあい喫茶を続けてきた川内公務員住宅にお住まいだった方のつながりで、青葉区落合の復興公営住宅自治会の依頼を受け、八幡町店こ〜ぶ委員会などがふれあい喫茶を開催しました。住民16名が参加し、希望のあった七夕飾りづくりをしました。様々なお話を聞かせていただき、新しいコミュニティができつつあることが伺えました。今後も、依頼に応じて開催していきます。



【仙台市太白区あすと長町】

あすと長町仮設住宅集会所のふれあい喫茶は2016年3月で終了しましたが、「ぜひ同じ地域の公営住宅でもふれあい喫茶を！」との声が寄せられ、サポーターの皆さんと検討しました。自治会からの「入居数が一番多い第一公営住宅で、コミ



自治会の皆さんと顔合わせの様子です

ユニティ作り支援をお願いしたい」という要望に応え、第1公営住宅で定期開催が決まりました。1回目となる7/20(水)は、お取引先の小川珈琲株式会社の協力をいただいて「おいしい珈琲の淹れ方」を行う予定です。様々な方といっしょに活動の輪が広がっています。



支援に感謝です！



仮設住宅の集会所などで開催しているふれあい喫茶のお茶菓子にどうぞ！と各地の生協からご支援をいただいています。石巻には今回、ならコープやコープぎふの皆さんからお菓子をいただきました。参加者からは「熊本の地震もあったのにこちらにもいただいているんですね。有難いです」や「とってもおいしいお菓子ですね！ありがたいです」の声が聞かれました。



仮設住宅集会所から店舗開催へつながりました！

みやぎ便り6月号でも記載しましたが、亘理町内の仮設住宅集会所は、6月上旬ですべて閉鎖になりました。お住まいの方々の要望で、6/13(月)亘理店集会所でふれあい喫茶を開催し21人が参加しました。希望された方に案内ハガキを送ったところ、「久しぶりにハガキをもらってとっても嬉しかった」「今日がとても待ち遠しかった」と笑顔で話してくださいました。

当日は、フラワーマグネット作りを行いました。「次のハガキには、年間開催日を書いてくれる？今日作ったマグネットで、冷蔵庫に貼っておくから」「これから毎月楽しみができてうれしい」という声を寄せていただきました。



スタッフ紹介

今回紹介するスタッフは西城三千代さんです。みやぎ生協加賀野店休憩コーナーで毎月第2火曜日に“ちょこボカフェ”を開催しています。2013年4月の初回から活躍されている西城さんは「ぐちや話を聴くことで、相手の方の気持ちが軽くなってくれれば嬉しいですね」と活動のやりがいを話してくださいました。(ちょこボとはちょこっとボランティアの名称です)



お話を聴く西城さん
(写真左)

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉